



春日っ子通信

春日小学校・校長室だより

文責 校長 丸山 晴幹

修学旅行での貴重な体験から学ぶこと



2日間ともによく晴れ、6年生は修学旅行に行ってきました。

1日目、原爆資料館見学、平和集会、龍踊り体験、2日目、長崎市内のフィールドワークと、子供たちは元気に頑張ることができていました。

平和集会では、外国の方を含め、足を止めたたくさんの方たちから、見ていただきました。また、龍踊りについては、昨年度の出島披露から、JR長崎駅に替わりました。駅ということもあってたくさんの方々から見て頂くことができました。皆さんが、足を止めてみて頂く姿に、子供たちも一段とやる気を感じることができました。

2日目のフィールドワークでは、班で協力し、臨機応変に動く姿が素晴らしかったです。全員、時間通りに帰りがすることができました。

龍踊りを指導していただいた方から、「とても話をよく聞き、やりやすかったです。素晴らしい子供たちですね。」宿泊したホテルの方からは、帰りに「挨拶がよくできますね。こちらから挨拶すれば返す子供はいるのですが、この学校の子供たちは、先に挨拶をします。驚きました。」いろいろな場所で、子供の姿をほめていただきました。これは、日頃の指導、学校を含め、家庭・地域の中で育った姿であると思っています。

この子供たちは、卒業までの日数を使い、よき伝統を自分たちの姿で残していってくれることと思っています。行事は子供を成長させるものであることを、改めて感じた2日間でした。私は、結団式で、「かすが」にちなんで、「か」感謝「す」素敵な修学旅行「が」協力して頑張る、ということを話しました。こんな素晴らしい修学旅行にしてくれた6年の子供たち一人一人に感謝しています。

昇町白寿会の皆様との交流を通して

～3年総合学習にて～



運動場からボールを打つ乾いたいい音が聞こえてきました。

本校3年生が、昇町白寿会の皆様から、グランドゴルフを教わりました。なかなかコツがつかめず、あたふたする子供たちにおじいちゃん、おばあちゃんが、丁寧に手を取り、教えてくださっています。とても微笑ましい光景でした。

3年生の総合学習の中での学習の一つです。

始まる2時間程前から、運動場に準備に来てくださっています。たいへん有難いことです。初めはうまくボールが当たらなかった子供たちは、徐々に上手になっていきます。これまで体験したことのないスポーツなので、余計に意欲が湧いてくるようです。



地域の皆様とのかかわりは、子供たちの「市民性」(※地域の人・もの・ことに大いにかかわること)を育てる上でも、貴重な体験であると考えます。

ちなみに、1年生はこれから、昔遊びを地域の方に教わります。